内外電報

赤衛軍各地占領

露國赤衛軍はコアヅアス、ニッチ、スコロウウ、ラジミルウオルヒンスクの各地を占領したり（巴里來電）

ワルソー危機迫る

ワルソーの運命は風前の燈火にして過激派軍は漸々進軍し目下の小隊を利用して新に攻撃を繼續しつゝありて目下ダンチム河を越えて…（巴里來電）

過激派鐵道を切斷せんとす

露國過激派はワルソーダンチッヒ鐵道を切斷せんと試みつゝあり（巴里來電）

波蘭平和を希望す

波蘭は國際聯盟に公文を送り名譽ある平和を締結せん事を希望する旨發表したり（維也納來電）

佛軍通過に獨反對

佛國軍にて波蘭を援助する爲め獨逸を經由して軍隊を動かす可しとせば獨逸に於ては獨逸の一般罷業布告さる可しと信ぜらる（伯林來電）

英露の代表會見

首相ロイド、ジョージ氏は六日夜五時間半の長時間に亘りて露國勞農政府代表者カメネスクツシング兩氏と會見せり露國との戰爭か平和かは其囘答の如何に依ると決定す（倫敦來電）

伊國對露封鎖反對

伊國外相スフォルヂ伯は伊國下院にて伊國政府は勞農露國を封鎖する事に同意する能はず聯合國の露國封鎖は露國民の士氣を鼓舞し…伊太利に代表者を派遣し伊露兩國の關係の樹立を熱望すと言へり（巴利來電）

英勞働者威嚇決議

全英國勞働者は示威運動を爲し英國にして對露宣戰を爲すに於ては…一切休止す可しとの脅威的決議を爲せり（シドニー來電）

波蘭居留民活躍

米國の主要都市に於ける波蘭居留民は…米國の世論を喚起すべく今週中必死の運動をなす筈なり又波蘭居留民は委員を選び米國大統領ウヰルソン氏及大統領に會見したり（紐育來電）

兩首相の意見一致

英國首相ロイドジョージ氏及佛國首相ミルラン氏は九日午後會議を終了せり兩氏の意見は全然一致したりと發表されたり（ハイス來電）

勃牙利講和批準

聯合國及勃牙利代表者は勃牙利講和條約の批准を交換したり（巴里來電）

北歐政局の危機

露波戰爭に對する露の眞意

露國及び波蘭の休戰交渉は一日バ…なると共に波蘭問題の危機は英佛米三國…

講和交渉

…

熟議を凝らせる

…

世界革命

…

脅威を與へ

…

第一幕の

…

土耳古調印延期

土耳其の講和條約調印は八月十日迄延期されたり（巴里來電）

黑龍徴兵不可能

パルチザン跋扈の爲め

黑龍州方の目的を以て黑龍地方に派遣されたるブロロフ大佐は同地方のパルチザンが全部下江し居り且つパルチザンが如何なる命令にも服せざる爲め壯丁の徴募不可能なりと認めたるを以て哈爾賓に歸還せんとするの報あり（哈爾賓來電）

犯人引渡を要求せん

支那政府は公使館區域内に潛伏せる犯人の引渡しを交渉すべし（北京來電）

支那閣員全部確定

○内閣の閣員全部確定せり（北京來電）

總理は軍人に限る

李純の對時局意見

北方和議諸代表李純の對時局意見は左の如く非公式に發表せられたり

一、一先づ速かに過渡的内閣を組織し時局の解決を俟つて人材を網羅せる政府内閣を組織すべし
一、國務總理は之を軍人以外に求むべし
一、新舊兩國會は事實上消滅せるを以て解散し南北共に直に選舉を施行し本年内に新國會を召集すべし
一、徐總統は今や全國人民の留任を希望する所なり現在の地位に留むべし
一、和議問題は既に進捗し居り…兩氏と交渉を開始せる孫文唐紹儀兩氏は大局を顧念し南北統一を希望せり

波軍漸次後退す

北方に於ける波蘭戰線はワルソーを距る一哩五分の地點迄後退したり（ワルソー來電）

波都移轉

波蘭政府はワルソーを退去しカナツシュに移轉すべく準備中なり（巴里來電）

英佛首相會見

佛國外務省は佛國は八月英國にて開かる可き會議に參加し佛首相ミルラン氏は英國首相と會見す可しと發表せり（巴里來電）

米公文書發送

佛國外務省は華盛頓より公文を受領せり（巴里來電）

君府占領許可

過激派政府が如何に波蘭戰に對し…聯合國は君府占領を許可せりといふ（倫敦來電）

米小麥收獲量

米國農務省は小麥收獲量を七億九千五百萬ブツセルと計上せり（紐育來電）

葡殖民地自治

葡萄牙下院は植民地自治案を可決せり（倫敦來電）

戰利列車百輛

露國作戰軍は戰利品を列車百輛に積み目下輸送しつゝあり

小幡公使通告

小幡公使は外交總長代理に對し…に抗議し來れる亡命者保護に關する理由を通告せり（北京來電）

政友會捷つ

若松市市會議員選舉の結果石川政友會派大勝を得たり（東京來電）

勅參任命遲延

…

遞信勅參候補

…

陸軍大異動發表

陸軍大異動は十日午前發表

陸軍少將 朝久野…大多…

同 久野…
同 緒方…
同 三…
同 町田…
同 横山…
同 石原…
同 井上…

任陸軍中將（各通）

…

陸海軍大將

…

親補發表期

…

海相愈辭職乎

…

朝鮮師團異動

…

サガレン州開發企畫

…

鮮内經濟概況

米界

…

財界

…

京城

…

仁川

…

大田

…

大邱

…

貿易

…

公設市場放棄

…

撫順線電力應用

滿鐵電化策の第一試設

…

立花司令官動靜

…

警察官新募

…

平松參謀訪府

…

殖產局長歸任

…

大橋大佐着任

…

留學生監督入城

…

風塵錄

…

三面論壇

菓子屋に箸と匙とを使用せしめよ

一體に日本の菓子屋は何時代の柔かい品を汚い手で摑まれては、因襲其儘で新時代の要求に應ずべき改良と設備に冷淡なるは遺憾とする所である、近來菓子屋が時代の手の垢や不潔物は凡て菓子に附着するので、全く菓子屋の主人や丁稚を用ゆるに至つたのは一進歩であるが、また菓子の儘店に出して塵埃のまぶれるに任せて之を賣るのも多い全く不衛生である。

菓子屋に行つて吾々の最も危險でかつ不愉快とする所は菓子屋の主人や店員が汗や垢の滲んだ手で菓子を引つ摑みて紙に包むことである手には汗や垢計りで無く、どんな不潔な者が附着して居るか判らぬ其れもからくした煎餅類ならまだ宜いが、生菓子や、砂糖漬けの時は、菓子を箸と匙とを使用し菓子を手で摑むことを禁止して然るべしである、此際當局に於て其筋は菓子屋に命じ、必ず箸と匙とを使用して之を嚴行し終に之を常習として何時でも然せしむることにして菓子屋の衛生を改善して貰ひたい、敢て當局者に勸告す。

平凡なる陸軍定期大異動

新中將が九名、新少將三十名

揃うての陞進が目に立つ丈け

結局可もなく不可もない

―某消息の談―

新少將

現浦鹽

最高の外交的使節

大英國の誇りとする

國民の崇敬は唯讃辞に

日米戰爭は妄説

第一米國の士卒が動かぬ

と中將極力否定

何が爲め

終始し

憤起す

大本教信者

宣傳の爲大正日々買收計劃

先覺者は

異口同音

吉橋少將自殺

意見衝突の爲め

某銀行員

犯罪の裏面

（五）

數萬圓の横領金は

如何に費消されたか

謂はゞ犧牲になつた

北條さだるま

七八回

險惡な

富豪は薩張り出さぬ

尼港殉難者への同情金僅萬圓

第一回三萬圓は九月一日分配

分配標準

陸軍で斡旋する

大分樂になつた軍隊生活

除隊兵の就職口を

窮屈だ

就職難

公設の

仁川防疫計劃

遂に龍山に飛火す

府内の累計百四十六名

東亞貴は安全

患者行方を晦ます

一家内に六名發生

逮捕さ

大問題

電車復舊

未修繕は

と二十臺

明大對鐵道第一回戰

滿鐵善戰して敗る

五千を突破す

八十九名

無慮一萬

價格表記の金が失くなる

犯人は何者？

闘々しい偽刑事

監禁の阿片押收

▲集金人募集▼

京城日日新聞社

小栗判官 照手姫

旭亭桃山口演

（四十）

本實酒に誘はれて



廣告

演藝案内

大正館

社長 内山守太郎 —— 大陸事業界の羅針盤

第參號 八月號

大陸之實業

朝鮮經營に關する經濟的施設……内山本社長

朝鮮開拓と日本の使命

朝鮮第一の產米

滿洲油房業

英米の大陸活躍

ウ僞政團に勿欺

財界變動と東拓貸金

大連魚市場問題

大連景氣と銀行家

大連諸會社決算評

現代名士の朝鮮觀

皮肉大陸千字文

支那過激思想宣傳

如何にして恐怖來に對應すべきか

世界に稀なる四平街の商設備

北滿沿帶に就て

露西滿蒙の婦人

戀の忘れ道

大連財界に於ける得意の人

發行所 大陸之實業社

年中無休刊

京城日日新聞

本紙定價 一ヶ月前金 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 鳥羽[illegible]
印刷人 [illegible]
發行所 京城日日新聞社

殖民地統治(六)

拓殖局編

第三章 殖民地の統治機關

第四節 中央に於ける統治機關

中央政府に於て朝鮮、臺灣、樺太及關東州に關する政務を統督するものは内閣總理大臣なり、而して總理大臣の監督を承け是等殖民地に關する事項を整理するものを[illegible]

[illegible]

4 總督は其の管轄區域内の安寧秩序を保持する爲に必要あると認むるときは陸軍司令官に出兵を請求することを得、5 總督は[illegible]又は職權に依り發したる處分[illegible] 6 總督は所部の官吏を統督す、7 總督は内閣總理大臣を經て所部文官の叙位叙勲を上奏す。

(二) 總督府の組織 [illegible]

第二節 各殖民地に於ける統治機關

[illegible]

地方制 改正(五)

[illegible]

一日一人(廿九)

ヒマラヤ山人

鄉津檢事正

京城地方法院檢事正鄉津友彌氏は現職を辭して辯護士を開業すると云ふ説があるが未だ發表を見ないので確言は出來ないが多分事實となつて近く現はれるであらう、氏が辭職の理由として聞く所に依れば例の[illegible]事件の一派の不受理決定が動機であると云ふ話だ、即ち鄉津氏は該事件は當然地方法院にて取扱ふて可然法文に[illegible]ずと云ふ論者らしい、其れが地方裁判所の立川判事に依りて不受理の判決を與へられたので、氏は頗るけしからんと憤慨して居ると云ふ話だ、果して然らば氏は當代役人には珍らしい主張のある人と云ふべきである、併し一方では今回計畫された裁判官淘汰の一人に入れられたのだと云ふ説もある、併し好檢事正の名高き氏が淘汰の中に入れらるゝとは信ぜられない、氏は長野縣安曇の人で、明治二十六年[illegible]法律を出で[illegible]二十八年檢事となり、福島、仙臺、山形、名古屋等の地方裁判所檢事を勤め、明治四十一年渡鮮、咸興、平壤、釜山等の地方法院檢事正を勤め、大正六年京城に轉任し來り、現職に就たのである。

[illegible]

尼港 慘虐の跡(中)

尼港に於けるパルチザンの慘虐は殆ど想像以上で其の酸鼻の光景を叙するには文章の筆を揮つても猶ほ及ばぬであらうと思ふ[illegible]

大虐慘

[illegible]

素裸體

[illegible]

夜慘の

[illegible]

創作 逆流(十一)

森 啟波

[illegible]

